

有機農産物適用肥料

大地のちから

有機の

ペレット品

動物質  
リッチ

みなもと

源

MINAMOTO



正味20kg





待望の 極上動物質有機

# 有機の源 みなもと

【有機農産物適用肥料】

## 6-4-2

### 有機の源とは

最新の技術によってうずらの廃鳥や廃卵を原料とした、動物質有機100%のぼかしタイプの肥料です。(普通肥料登録取得)

### 有機の源の特長と効果

1. 作物の色、艶を良くし、開花、着果、果実肥大の促進、食味あるいは日持ちの向上などに役立ち、より良品質なものが収穫できます。  
それは、活性の強いアミノ酸、ビタミン、ミネラルなどの栄養素を多量に含有しているからです。
2. 土壌の緩衝能が増大し、適性な養分供給の源泉となります。  
その力によって肥やけ、肥切等の障害をなくし、常に作物を順調に生育させます。
3. 連用することによって土壌の改善、土壌の生産力が保持されます。  
微生物の繁殖を旺盛にし、土壌の通気性、保水性、透水性を高め、連作障害の防止に役立ち土壌を豊沃にします。

### 有機の源の上手な使い方

- 有機の源は、魚肥と同じ様な肥効を示し、活性の強い有機質肥料ですので、は種や定植の10~20日前に施用し、土とよく混ぜて下さい。
- 有機の源は、化学肥料や複合肥料と併用すれば相乗されてより効果的です。
- 有機の源は、わら、落葉、野菜くずなどと一緒に積めば、優良な堆肥が短時間でできます。

特約店

### 施用ポイント

#### ○うまい米づくりには

元肥に3~5袋、代かき前に土とよく混和して下さい。

#### ○果樹成木園には

全園散布(軽く中耕して土とよく混ぜるのが理想)  
常緑果樹は春肥重点、年間8~10袋  
落葉果樹は秋肥重点、年間6~8袋

#### ○野菜のハウス栽培には

ハウス定植の10~20日前に反当5~10袋を全面施用し、土とよく混ぜて下さい。

#### ○露地野菜には

直接種子や苗に触れないよう、は種や苗定植の7~14日前に全面施用し、土とよく混ぜて下さい。  
トンネル又はマルチの場合は、10~20日前に施用し、土になじませてから、は種や苗定植して下さい。

#### ○茶樹園では

夏肥に6~8袋、秋肥に3~4袋、春肥に4~5袋

〈微量要素分析例〉

カルシウム	10.27%
苦土	0.93%
けい酸	0.76%
ほう酸	0.09%
鉄	0.19%
有機炭素	32.11%
亜鉛	280ppm
銅	28ppm
モリブデン	3ppm